

平成二五年二月一七日【日】

午後二時開演（午後一時三〇分開場）

岩田達宗 演出

赤い陣羽織

— 歌い継ぎたい日本の歌 —

茨木市市民総合センター

クリエイトセンター・センターホール

茨木市駅前四丁目六番一六号 O七二一六四一七五元／日 茨木駅から東へ、阪急茨木市駅から西へ徒歩一〇分

◆第一部／歌い継ぎたい日本の歌
「出演」

ソプラノ…矢木京子

メゾソプラノ…川端いづみ／中原由美子

テノール…小林峻

ピアノ…村崎愛 ほか

「曲目」

青蛙 山田耕筰作曲

ゆく春 中田喜直作曲

くちなし 高田三郎作曲

鷗 木下牧子作曲

淡雪 伊藤康英作曲

二番目に言いたいこと なかにしあかね作曲 ほか

◆第二部／音楽喜劇「赤い陣羽織」室内オペラ形式

原作…木下順二

作曲…大栗裕

指揮…森香織

演出…岩田達宗

副指揮…松井拓人

「室内楽」

ピアノ…石原光世

フルート…川中志保

クラリネット…吉信博

チェロ…綿貫直美

打楽器…石山歩

「キャスト」

おやじ…竹内直紀

女房…加藤かおり

代官…清原邦仁

奥方…田村仁美

庄屋…萩原次己

子分…木村孝夫

孫太郎…西村明浩

腰元…川上由起子／川端いづみ／中原由美子／矢木京子

門番…小林峻／西村明浩

◆主催Ⅱ（公財）茨木市文化振興財団／茨木市音楽芸術協会
◆後援Ⅱ茨木商工会議所／茨木市観光協会

「赤い陣羽織」——関西歌劇団の創作歌劇第一弾として1955年に作曲された、大栗裕の初オペラ作品。権力の象徴である赤い陣羽織を着た女好きのお代官様が女房に言い寄りにやってくる。ひょんなことから、女房が寝取られたと勘違いしたおやじは怒りに駆られ、「お代官様の奥方を寝取ってやる」と、奥方がいるお屋敷へと走っていく。果たして誤解が生んだ復讐劇はどうなるか……。

大栗 裕 (おおぐり・ひろし)

1918年(大正7年)に大阪船場に生まれる。大阪市立天王寺商業学校時代からホルンの演奏をはじめ、1950年に関西交響楽団に入団する。1955年に作曲された「大阪俗謡による幻想曲」はベルリン・フィルハーモニー管弦楽団によって演奏され、世界的に知られるところとなる。1966年に楽団を退団、作曲活動に専念し500曲に達すると思われる膨大な作品を遺している。その作風は故郷大阪のわらべ唄や祭囃子の旋律を巧みに使い、しばしば「東洋のバルトーク」と称されている。茨木市立水尾小学校校歌作曲者。

写真：大阪音楽大学付属図書館大栗文庫所蔵

【演出】 岩田達宗 (いわた・たつじ)

舞台監督集団「ザ・スタッフ」に参加。オペラの舞台製作にかかわる。1991年より栗山昌良に演出助手として師事。96年五島記念文化賞オペラ新人賞を受賞。98年より2年間ヨーロッパ各地を遊学、研鑽を積む。帰国後、本格的にオペラ演出家として活動始める。日生劇場、新国立劇場、びわこホール、コレギウム・ムジクム、藤沢市民オペラ、日本オペラ協会、広島オペラネットワーク、など各地のオペラ・プロダクションで作品を発表し、高い評価を得る。03年に堺シティオペラでのブッチーニ作曲「三部作」、05年いづみホールでのプーランク作曲「カルメル会修道女の対話」は、同年の音楽クリティック・クラブ賞、大阪府舞台芸術賞を受賞。同じく堺シティオペラ「三部作」と愛知万博開催記念オペラ新実徳英作曲「白鳥」は佐川吉男賞を受賞。08年愛知県文化事業団「ファルスタッフ」は三菱UFJ信託音楽賞を受賞。11年大阪音楽大学ザ・カレッジオペラハウスでのプリテン作曲「ねじの回転」は文化庁芸術祭大賞に選ばれた。06年には自身が音楽クリティック・クラブ賞を受賞。最近の主な演出作品は、藤原歌劇団「ラ・ボエム」、「ラ・ジョコンダ」、「ルチア」、東京文化会館創立50周年記念公演「古事記」など。

【指揮】 森 香織 (もり・かおり)

大阪音楽大学作曲科卒業、同指揮専攻科修了。2003年 ローム ミュージック ファンデーション指揮セミナーを受講、指揮を小澤征爾、湯浅勇治に師事。同年、同財団の奨学生として、ウィーン国立音楽大学へ留学。05年より、イタリア・キジアーナ音楽院指揮コースにて、レッスン生になり、指揮をG.ジェルメッティに師事、ディプロマ取得、同氏が音楽監督を務めていたローマ歌劇場にて研修する。その後、スイス・ルツェルン音楽院にてベルナルト・ハイティンクのもと、フェスティバル ストリングス ルツェルンを指揮する機会を得て、研修を重ねる。11年、京都で開催された国民文化祭のフィナーレを指揮するなど、活動の場を広げている。指揮をこれまでに、小澤征爾、飯森範親、L.ハーガー、湯浅勇治、E.アチェル、G.ジェルメッティ、B.ハイティンクに師事。



【キャスト】



おやじ◎竹内直紀



女房◎加藤かおり



代官◎清原邦仁



奥方◎田村仁美



庄屋◎萩原次己



子分◎木村孝夫



腰元◎川上由起子



腰元◎川端いづみ



腰元◎中原由美子



腰元◎矢木京子



門番◎小林 峻



孫太郎/門番◎西村明浩

茨木市文化振興財団第151回公演／シリーズ日本の歌Ⅶ／第15回音楽協コンサート

平成25年2月17日[日]14:00開演(13:30開場)／茨木市市民総合センター クリエイトセンター・センターホール

茨木市駅前四丁目6番16号072-624-1726／JR茨木駅から東へ、阪急茨木市駅から西へ徒歩10分

【全席指定】一般4,000円／65歳以上、障害者及びその介助者3,500円／青少年[24歳以下]1,000円

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKA メセナカード各会員は10%引き(この取り扱いは財団窓口のみです)

*就学前のお子様の入場はご遠慮ください

11月2日(金)9:00 予約開始

財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。残席がある場合は翌日から窓口販売いたします。

◆チケットのお申込み・お問合せ

茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055(9:00～17:00)／インターネットチケット<http://www.ibabun.jp/>

予約後は1週間以内に下記のチケットカウンターでご精算ください。チケットの引取り・窓口販売は発売翌日からです。

ユアイホールチケットカウンター 9:00～17:00／クリエイトセンターチケットカウンター 9:00～17:00

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、〈チケット料金+郵送料手数料400円〉を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。

払込手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。〈払込口座〉00970-7-190576／加入者名：茨木市文化振興財団

◆その他プレイガイド(初日店頭販売あり 10:00～)

ローソンチケット0570-000-407(オペレーター対応)・Lコード予約0570-084-005(Lコード59005)＊ローソン各店舗で直接購入できます。

電子チケットぴあ0570-02-9999(Pコード177-446) ＊サンクス、サークルK、セブンイレブン各店舗で直接購入できます。

◆主催：公益財団法人茨木市文化振興財団／茨木市音楽芸術協会 ◆後援：茨木商工会議所／茨木市観光協会

